

天草教育研究所報

題字 故野口 斌

平成26年2月18日発行 第137号

発行所 天草教育研究所
H.P.:http://www2.ocn.ne.jp/~edu/
編集発行人 松下 恭子
印刷 中野 印刷
22-5044

教育研究所努力目標：「生きる力」をはぐくむ、教職員研修の充実と児童生徒活動の振興

熊本県小・中学校特別活動研究発表大会 天草大会に向けて

特別活動・進路指導部門 会長 糺本 佐戸之

本部門では、次年度、熊本県小学校及び中学校の特別活動研究大会天草大会を同時開催する予定になっている。このため、本年度より研究委員や協力委員、研究会会員を中心に、会場の先生方の協力の下、学級活動における話し合い活動について実践的な研究を進めてきている。研究の内容としては、特に合意形成をめざした話し合い活動に視点をあてながら、次の三点に

- 一 効率的な話し合い活動の進め方
- 二 学級の課題の共有化
- 三 話し合いマニユアルの活用
- 四 小集団での討議
- 五 納得のいく合意形成の工夫
- 六 合意内容の予想と手立て
- 七 時間確保の工夫

感性を磨き、生き生きと学ぶ子どもを育てる 学校図書館をめざして

図書館部門 会長 向 博 俊

十二月三日(火)、天草市立亀川小学校において、天草郡市学校図書館研究会を開催いたしました。当日はスタッフを含めて七十人を超える参加者を得て、盛会の内に会を終えることができました。

前半の五年生国語科「わたしたちの『図書館改造』」の公開授業では、子ども達の目線で捉えた図書館改造の提案がなされ、図書館運営に新たな視点を見出すことができました。

後半には、稜南中学校の親父読み聞かせの会の発表による読み聞かせの実演と、実践報告をして頂きました。ユーモアを交えながらの発表を通して、子どもたちの感性を耕す取組に、参加者一同感銘を受けたところです。

会場を快くご提供頂いた



中村康敬校長先生をはじめ、会場校である亀川小学校の先生方に重ねて感謝申し上げます。

来年十二月には、天草の地で熊本県学校図書館研究会大会を開催いたします。現在、研究委員を中心に着々と準備を進めているところです。図書館教育の更なる充実を目指し、精一杯頑張っていく所存です。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

部門研究発表報告 県大会 天草大会に向けて!

県大会に向けて

技術・家庭科部門 会長 大槻 晋

平成二十六年度第六十四回熊本県中学校技術・家庭科教育研究大会に向けて、技術分野・家庭分野それぞれ計画的に実践を行い、本番に向けて準備を行っています。

一方、家庭分野では「持続的な社会の実現をめざし、環境に配慮した消費生活」を創り出す生徒の育成を目指します。三年間の年間指導計画を環境の視点から見直し再構築し、一・二・三年生では「内容B・C」と「内容D」の関連を図って公開授業を予定し、今までの実践的・体験的な題材をとりあげました。公開授業



ではD「身近な消費生活と環境」の導入として自分達のくらしが地球環境にどのような影響を与えているのかをICT教材を使って考えさせ、実践へとつないでいきます。

平成二十六年度は、県情報教育研究大会が天草で開催されます。午後半日の研究会で、研究発表・授業研究会並びに講演会を予定しています。期日は十月末から十一月上旬の見通しです。会場校として上天草市内の小中学校を予定して、現在上天草教育委員会に依頼しているところです。天草管内の先生方におかれましては、研究面や運営面でお願ひすることになります。その節はご協力よろしくお願ひいたします。また研究会当日は、多数のご参加をよろしくお願ひいたします。

県情報教育研究大会を「天草」で開催!

情報教育部門 会長 上田 九州男

本部門の前身は「視覚覚用の研修を実施しました。これまでに、簡易型電子黒板の活用、ビデオ編集、プレゼンテーションソフトの基本操作や成績処理等の研修を実施してきました。先生方に多少は貢献できたのではないかと考えています。ただ最近参加者が少なく、より多くの先生方に参加していただくことを課題としています。

本部門は、県小・中学校情報教育研究会の天草支部としての役割も持っています。

新採一年を経て

天草市立新和小学校 養護教諭 松田 みなみ

四月に本校に赴任し、主体的に健康な生活を実践できる子どもの育成を目指して、基本的生活習慣の確立に向けて取り組んできました。その取組の一つとして、自己健康観察を始め、児童に継続的に自らの生活習慣を振り返る機会を設定しました。そのことで、今まで見えてこなかった児童の生活習慣の実態に気付くことができ、児童自身も自分の生活習慣について振り返り、見直す機会となったと思っています。

この一年間、子どもたちや周りの先生方に支えられてきたこと、多くのことを学ぶことができました。子ども一人一人との関わりを大切にしながら、少しでも元氣や安心感を与えることができていきます。そして、これからも感謝の心と謙虚さを忘れずに、養護教諭としての力量を高めていけるよう努力していきたいと思っています。

天草市立稜南中学校 教諭 東崎 綾

稜南中学校に赴任し、早いものでもう一年が経つ。四月、中学校での勤務が初めてだった私は、多くの不安を抱えていた。担任をすると決まった時、私に本当に務まるのかと不安に押しつぶされそうになり、涙を流したことが昨日のことのようだ。そんな頼りないスタートを切った私が、今、こうして可愛い生徒たちに囲まれ、幸せな毎日を送ることができている。これも、周りの人の温かな支えがあったからだと思う。時には厳しく指導していただきながらも、いつも温かく見守ってくださった先生方、そして保護者の方々から感謝されている。

そして、真っ直ぐ私について来てくれた子供たち、何があっても守っていきたいと思える子供たちに巡り合うことができ本当に幸せだ。

これからも、笑顔で心を豊かにするという年度当初に掲げた目標を胸に、日々成長していきたい。



天草市立志岐小学校 栄養教諭 高崎 真菜

なり、早一年。「食」は、生きることに必要な食について給食を通じて伝えることを目標としてきた。

この一年の中で「食は、言葉だけでは伝えることが出来ないことがあることに改めて気づかされた。今後は、様々な体験活動を通して「食」の大切さを実感させることが課題である。

私は、「身土不二」の様に地域の食材を中心に献立を作成することが大切であると考え、旬の新鮮な地場産物をふんだんに使用した給食を提供してきた。献立は、生きた教材であることを意識しながら指導へ繋がる様に意図的活用を心掛けていきたい。

栄養教諭の役割を常に心がけながら、信念を持ち続け、成長期である子どもたちのために心温まる美味しい給食を提供していきたい。

上天草市立維和小学校 事務職員 長尾 隆史

昨年三月末、維和小学校に赴任することが決まり校舎を見つけた。綺麗に整えられた花壇に感動したこと、遊びに来ていた子ども達の声が響いていたことを覚えている。あれから一年、本当にあったという間に過ぎた。

年度当初、何をすればいいのかわからず不安でいっぱいだった。そんななかで、

のは、ひとえに周りの先生方のご支援のおかげである。本校の先生方はもちろん、嫌な顔ひとつせず支えてくださった近隣事務職員の先生方には心から感謝している。

職務にもだんだんと慣れてきたものの、また事務職員として至らないところは、元氣いっぱい、の維和小児童や先生方に囲まれながら、信頼される事務職員となれるよう、日々成長していけたらと思う。

お礼のことば

天草教育研究所 副所長 武藤 隆士



天草教育研究所の諸事業につきまして、日頃からご理解・ご協力いただきありがとうございます。本年度も多くの成果を残して、予定された事業を終えることができました。これもひとえに各市町長様、教育長様、関係諸団体の温かいご支援・ご協力のたまものであると心から感謝しています。

さて、天草教育研究所では、本年度も教職員の研修の充実と児童生徒活動の振興を努力目標として活動を進めてきました。

研修の充実につきまして、各都道府県や各部門での研修が積極的に行われ、教職員の授業力向上をはじめとする専門性の向上につながったと思っています。本年度は、小学校国語科と中学校理科の県大会が天草で開催され、大きな成果を残すとともに多くの先生方にお世話になりました。

また、児童生徒活動の振興におきましても、全ての事業を予定どおり終了することができました。体育関係の大会、文化展、音楽会、英語発表会等で児童生徒が活躍し、県レベルでも天草の児童生徒の活躍が目立ちました。これも先生方の日々の熱心な教育実践のおかげであると思います。

ところで、少子高齢化が急速に進み、天草では小・中学校の統廃合が進んでいます。このような時代の流れの中、天草教育研究所としても、大きな転換期を迎えています。先日もお知らせしましたとおり研修の在り方について、今後の方向性をお示しました。天草の子どもの健全育成のために諸先輩方の思いを踏まえ、これまで出された意見等を参考にしながら、よりよい研修にしていきたいと考えています。

各市町長様、教育長様の引き続きのご支援をはじめ先生方のご協力を願ひしまして、お礼の言葉といたします。